

第1章「稼ぐ力」の強化と地域経済循環の活性化

第1節 農業の振興

施策の基本的方向	【令和6年度までの評価】						【令和7年度の評価】(中間)						
	【～R3】 本町の主幹産業である農業の振興を図るため、産地パワーアップ事業や園芸産地活力増進事業など、国県の有効な事業を活用して生産出荷に係る施設整備を促進している。 将来を見据えて担い手の育成・確保に係る新規就農者や親元就農者を支援する事業を展開した。 【R4】 農業振興の推進、安定した収量の確保のため、施設整備支援、担い手(新規就農者)確保を引き続き取り組んでいる。 農業振興を図るため、国県の各種事業を活用し、新規就農(担い手)確保、施設整備を支援し、産地維持に取り組めた。 ブランド化による単価の安定、新規就農者数・支援に関しては順調。 就農者数と離農者数のバランス、人材紹介センターについては引き続き取り組みを強化する。 【R5】 担い手確保に向け、生産部、JA、県等の関係機関と連携し、産地体験会等の取り組みを実施した。 【R6】 農業振興、担い手育成を図るため、生産部、JA、県等の関係機関との連携、国県の補助事業の活用、新規就農相談会等の事業を展開した。						農業振興、担い手育成を図るため、生産部、JA、県等の関係機関との連携、国県の補助事業の活用、新規就農相談会等の事業を展開した。 また、北栄町の地域おこし協力隊の新たな仕組みにより、「移住×農業」の隊員募集を始めた。 これらにより産地振興・維持に繋がっている。						
	重要目標達成指標(KGI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 実績値／評価	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 期末			R7(6年目) 中間			目標値(R7)
							実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	
	町内農業総生産額 ※市町村別農業生産額推計	86.4億円(H30)	85.9億円(R1)	数値なし ※調査結果の未公表 評価なし	86.3億円(R2) やや遅れている	88.1億円(R4※R6.3.14公表値)/ やや遅れている	89.5億円(R5※R7.3.25公表値)/ 順調	国の発表する指標	いずれの農産物も肥料・資材費、人件費、輸送費の高騰、高温障害等の影響あり。収量減の単価高。担い手不足による生産者及び作付面積の減少がある。	— ※R8.3月公表予定	国の発表する指標	高温、大雨などの異常気象・天候不順による農産物への影響あり。収量減の単価高。	89.4億円
耕作放棄地の面積	36.1ha	38.3ha	46.6ha 遅れている	51.3ha 順調	76.6ha やや遅れている	102.4ha 遅れている	—	・農業委員による農家相談を実施、空き農地情報バンクの地図化及び公表を行い、遊休農地となる前に耕作につなげるような活動をしている。 ・遊休農地を解消する事業を行い、地域の担い手に貸付を行った。	実績数値は集計中。前年度よりも増加している状況。	—	・8月に利用状況調査を実施 ・農業委員による農家相談 ・地域計画の協議の場において、農地利用の協議 ・空き農地情報の公表及び地図化 ・遊休農地解消事業の活用について、担い手と協議	35.0ha	

	具体的施策	具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目)	R3(2年目)	R4(3年目)	R5(4年目)	R6(5年目) 期末		R7(6年目) 中間			目標値(R7)		
					実績値	実績値／評価	実績値	実績値	実績値／評価	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	実績値／評価		具体説明	取組内容・状況
具体的 施策	(1)農産物の ブランド化の 推進	生産者、JA、行政など 関係者が連携して、都市 部をはじめとする大消費 地での北栄町農産品のP R、直売を行い、ブランド 力の一層の強化を図りま す。	・北栄町ブランドPR・販売 促進事業 ・農産物ブランド推進活動 支援事業 ・すいか・ながいも健康マ ラソン大会	主要品目の単価 ※1割アップ	・西瓜 3,396円/ケース  ・ねばりっこ 380円/kg  ・らっきょう 606円/kg  ・ぶどう 950円/kg	・西瓜 2,056円/玉  ・ねばりっこ 399円/kg  ・らっきょう 567円/kg  ・ぶどう 1,155円/kg	・西瓜2,081円/玉 (4162円/ケース) 順調  ・ねばりっこ 391円/kg 概ね順調  ・らっきょう 671円/kg 順調  ・ぶどう 1,212円/kg 順調	・西瓜 3,761円/ケース 順調  ねばりっこ 412円/ケース 順調  らっきょう 640円/kg 順調  ぶどう 1,318円/kg 順調	・西瓜 3,907円/ケース  ・ねばりっこ 458円/ケース  ・らっきょう 524円/kg  ・ぶどう 1,328円/kg  <マラソン> 大栄西瓜 1,200玉 とろろ汁 4,000食配布	・西瓜 3,994円/ケ ース  ・ねばりっこ 482円/ケース  ・らっきょう 622円/kg  ・ぶどう 1,467円/kg  <マラソン> 大栄西瓜 1,100玉 とろろ汁 4,000食配布 順調	らっきょう以外は 順調。  県内外で農産物PRイベントを各 生産部、JA、県等と協力し実施。 試食販売は各会場で好評。 産地維持・ブランド力向上を図る ため補助金による支援を一部 行った。	・西瓜 4,091円/ケ ース  ねばりっこ —未確定—  らっきょう —未確定—  ぶどう —未確定—  <マラソン> 大栄西瓜 1,100玉 とろろ汁 5,000食配布 順調	西瓜は順調。 その他農産物は未 確定。  6/15に開催したす いか・ながいも健康 マラソン大会にて 大栄西瓜ととろろ 汁を振舞った。	県内外で農産物PRイベントを各 生産部、JA、県等と協力し実施。 試食販売は各会場で好評。	・西瓜 3,735円/ケース ・ねばりっこ 418円/kg ・らっきょう 666円/kg ・ぶどう 1,045円/kg	
	(2)新たな販 路開拓、農商 工連携	北栄町農産品を活用し た商品開発や販路開拓等 を行う者の支援や町内観 光農園及び飲食店と連携 した町内周遊イベントを 実施し、北栄町農産品の 付加価値を高めるととも に町内外に向けた魅力発 信に取り組めます。	・食と農の魅力創造支援 事業 ・ほくえい味覚めぐり	新たな商品開発件数	商品開発 1件/年	商品開発 1件/年	商品開発 1件/年 やや遅れている	商品開発 1件/年 やや遅れている	商品開発 1件/年 やや遅れている	商品開発 1件/年 やや遅れている	個人事業主1件  ・6次化に意欲のある者からの相 談に随時対応し、必要に応じて県 農業振興課等と連携しながら助 言を行った。 ・6次化に取り組む者に対して、食 と農の魅力創造支援事業補助金、 もうかる6次化・農商工連携支援 (県)、道の駅商品開発等支援事業 補助金により支援を行った。	商品開発 59件/年 達成済	道の駅ほうじょう での商品開発件数	道の駅ほうじょうで北栄町産農産 品を使用した商品開発がされた。	商品開発 3件/年	
	(3)新規就農 への参入支 援と担い手 の育成・確保 将	将来、地域の担い手と なる新規就農者や認定農 業者、集落営農組織、法 人等の育成確保を図りま す。	・農業経営サポート事業 ・就農営農相談員の配置 ・農の雇用事業の活用 ・先進地視察研修 ・集落営農組織化、法人化 支援事業 ・青年就農給付金、就農応 援交付金、親元就農促進 交付金、就農条件整備事 業 ・アグリスタート研修(事業 主体:鳥取県)	求人者数 ※常時雇用	15人/年	延67人/年	延24人/年 順調	1人/年 やや遅れている	0人/年 遅れている	0人/年 遅れている	町の人材紹介セン ター  町の人材紹介センターへは相談 はなかった。	0人/年 遅れている	町の人材紹介セン ター  町の人材紹介センターへは相談 はなかった。	20人/年		
				新規就農者数	8人/年	11人/年	5人/年 やや遅れている	14人/年 順調	7人/年 やや遅れている	1人/年 遅れている	—  国・県等の補助金を活用して新規 就農者の支援に取り組んだ。  R7.3月末の支援実績(R5年度ま でに就農した者を含む) 農業次世代人材投資資金 ・経営 開始資金 15人 就農応援交付金 4人 親元就農促進支援交付金 11人 (就農条件整備事業0人)	0人/年 遅れている (開始2人予定) (親元1人予定)	—  国・県等の補助金を活用して新規 就農者の支援に取り組んでいる。  R7.10月末の支援実績(R7年度 までに就農した者を含む) 農業次世代人材投資資金 ・経営 開始資金 15人 就農応援交付金 3人 親元就農促進支援交付金 6人 (就農条件整備事業7人)	10人/年		
	(4)イチゴ産 地化の取り 組み	(株)北栄ドリーム農場 の取り組みを核に、地域 おこし協力隊制度 を活 用してイチゴ栽培の技術 を有する人材を養成す るとともに、JA・県等の関 係機関が連携して、イチ ゴの産地化に取り組ま す。	・イチゴ地域おこし協力隊 事業 ・イチゴ栽培資材導入支援	イチゴ栽培における 雇用者数	3人	3人 地域おこし協力 隊(5名)は除く	2人 地域おこし協力隊 (5名)除く 遅れている	2人 地域おこし協力隊 (7名)除く 遅れている	2人 地域おこし協力 隊(5名)除く 遅れている	2人 地域おこし協力 隊(5名)除く 遅れている	—	—  ・R2の人員体制から1名減	2人 地域おこし協力 隊(5名)除く 遅れている	—	・R2の人員体制から1名減	6人

第2節 商工業の振興

施策の基本的方向	【施策の基本的方向】 町内の商工業活性化を目指して、町商工会と連携して町内事業者及び創業を志す人を支援します。 また、雇用相談や職業紹介の場の提供による求職者への支援及び新規に雇用を行う事業者への支援を通して、雇用の確保及び町内事業者が求める人材のマッチングを促進します。	【令和6年度までの評価】							【令和7年度の評価】(中間)					
		【～R3】 新型コロナウイルスによる地域経済対策として、事業継続を支援する取り組みを進めた。将来にわたって地域内循環を活性化する新たな取り組みとして町商工会が実施主体となる「ほくほくカード」の取り組みを支援し、持続可能な地域経済の維持・発展のきっかけづくりを行った。 【R4】 商工会と連携して、物価・燃油高騰対策として、事業継続を支援する取り組みを進めた。「ほくほくカード」の取り組みでは、必要に応じて町民生活を応援するためのポイントチャージキャンペーンを実施し、地域内循環の活性化を進めた。商工会と連携し、起業者数等の増加につなげた。 商工業の活性化、雇用・人材確保いずれの施策項目にも遅れが見られるため、情報発信・周知に努める。 【R5】 商工会と連携して、起業者数等の順調な増加につなげた。経営課題解決や事業進展を図る町内事業者の支援として、複業人材活用の取り組みを勧めた。商工業の活性化、雇用・人材確保いずれの施策項目にも遅れが見られるため、情報発信・周知に努める。 【R6】 商工会と連携して、起業者数等の順調な増加につなげた。当課題解決や事業進展を図る町内事業者の支援として、複業人材活用の取り組みを進めた。商工業の活性化、雇用・人材確保について、引き続き商工会と連携して情報発信・周知に努めた。商工会と連携してほくほくカードキャンペーンの実施により、町民生活町内事業者を支援するとともにポイントの地域循環の活性化を進めた。							商工会と連携して、経営課題解決や事業進展を図る町内事業者の支援として、複業人材活用の取り組みを進めるとともに採用・人材育成にも関わる「地域の人事部」の体制構築を進めている。 商工業の活性化や商工振興について、引き続き商工会と連携して情報発信・周知に努めている。					
		重要目標達成指標 (KGI)	基準値(R1)	R2(1年目)	R3(2年目)	R4(3年目)	R5(4年目)	R6(5年目) 期末		R7(6年目) 中間			目標値(R7)	
				実績値	実績値／評価	実績値	実績値／評価	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	
		製造品出荷額等	83.7億円 (H30) ※速報値	数値なし ※令和3年 経済センサス	数値なし ※調査結果の未公表  評価なし	66.2億円(R3) 遅れている	数値なし ※センサスはR8実施予定	数値なし ※センサスはR8実施予定	—	・エネルギー・原材料価格の高騰化の影響を受けた町内事業者の持続的発展を支援するとともに、必要に応じて規模拡大等に係る支援を行った。	数値なし ※センサスはR8実施予定	—	・エネルギー・原材料価格の高騰化の影響を受けた町内事業者の持続的発展を支援するとともに、必要に応じて規模拡大等に係る支援を行った。 ・出張相談の実施などハローワークと連携して求職者への支援を行った。	83.7億円を維持
		製造業従業者数	553人 ※速報値			560人 順調								553人を維持
		年間商品販売額	266.9億円 (H28)			206.3億円 (R3)								266.9億円を維持
		卸売業・小売業従業者数	711人(H28)			609人(R3)								711人を維持

※達成状況は経済センサス活動調査(令和3年、8年に実施予定)で確認。

具体的 施策	具体的施策		具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3見込(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 期末 実績値	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 期末 実績値／評価 具体説明		R7(6年目) 中間 実績値／評価 具体説明 取組内容・状況			目標値(R7)	
	(1)商工業活 性化の推進	商工会と連携して町内 事業者への支援を行い、 本町の商工業活性化を促 進します。 規模を拡大しようとする 事業者に対して、北栄 町企業立地促進奨励金制 度により、有効な支援を 行います。 また、「名探偵コナン」に 会えるまち」の魅力をさ らに高めるために、由良 宿周辺地域での創業を重 点的に支援するととも に、空き店舗の有効活用 と事業継承を支援し、既 存の商店街の賑わい創出 を図ります。	・企業立地促進奨励金 ・創業支援事業 ・由良宿まちづくり活性化 支援事業 ・地域商業自立促進事業 (事業主体:北栄町商工 会) ・町内及び町外企業訪問 を行います。	商工会会員数	377社	400社	402社 順調	400社 順調	410社 順調	405社 順調	—	409社 順調	—	・商工会と連携し、エネルギー・原 材料価格の高騰化の影響を受け た町内事業者の持続的発展に向 けた支援を行った。	380社	
				町内企業増設社数 ※企業立地促進奨励 金申込み件数	4社/年	3社/1年	8社/2年 順調	11社/3年 やや遅れている	11社/4年 やや遅れている	17社/5年 遅れている	6社	・工場を新設・増設及び機器の設 置を行う事業所に対し、企業立地 促進奨励金の案内を行っている。	20社/6年 遅れている	3社	・工場を新設・増設及び機器の設 置を行う事業所に対し、企業立地 促進奨励金の案内を行っている。	25社/6年
				町内起業者数 ※創業支援事業利用 件数	3件/年	4件/1年	8件/2年 順調	13件/3年 順調	21件/4年 順調	33件/4年 達成済	12件	・北栄町創業支援事業、北栄町由 良宿まちづくり活性化支援事業に おいて起業・創業を支援した。	34社/6年 達成済	2件	商工会と連携し北栄町創業支援、 北栄町由良宿まちづくり活性化支 援事業において起業・創業を支援 した。 由良宿まちづくり活性化支援事業 は、申請回数を拡大(1回➡2回) ・交付決定4件、うち実績報告2件	18件/6年
	(2)雇用・人 材確保施策 の充実	雇用の安定、新たな雇 用の創出のため、雇用相 談・職業紹介の場の提 供、職業能力向上の推 進、雇用創出の取り組 みに対する支援、障がい のある人の就労支援など、 関係機関と連携しながら 各種の取り組みを進めま す。 また、事業者が求める 人材確保に係るマッチ ング支援を行います。	・町担当課に開設している 雇用相談・無料職業紹介 所窓口の運用 ・町ホームページによるハ ローワーク求人紹介 ・農業経営サポーター事業 との連携支援 ・職業訓練及び資格取得 研修の周知 ・ふるさと就職応援事業 ・企業立地促進奨励金の 活用 ・町内事業所求人情報 コーナーの設置 ・障がい者雇用支援・啓発 事業 ・あいサポーター研修の実 施による企業への啓発、 相談支援の充実	特別創業支援認定者 数	5件/年	5件/1年	12件/2年 順調	16件/3年 順調	23件/4年 順調	35件/5年 達成済	12件	38件/6年 達成済	3件	・産業支援センターや商工会が実 地する経営支援相談や研修会に 参加して認定された者に対し、町 から認定証明書を交付し、創業に 必要な支援を行った。	30件/6年	
				職業能力向上研修者 の正規雇用者数 ※町内者が研修受講 し、正規雇用となった 人数	7人/年	5人/1年	5人/1年 やや遅れている	未算出 ※R5.4月以降に 判明 評価なし	19人/4年 遅れている	22人/5年	3名	・技能講習等の職業能力開発に関 する案内を、庁舎内に設置してい る「求人情報コーナー」に配架し、 就職者及び在職者に周知した。 ・今後の取組として、地域の時事 部事業において研修受講生と町 内企業とのマッチングについて検 討を行う。	未算出 ※R8.4月以降 に判明 評価なし	—	—	45人/6年
				企業立地促進奨励金 利用雇用者数	6人/年	8人/1年	8人/2年 概ね順調	9人/3年 遅れている	11人/4年 遅れている	13人/5年 遅れている	2人	・商工会総会にて商工会員に奨励 金の紹介を行った。 ・事業所の新設並びに増設に伴 い、町内者を雇用する事業所に奨 励金を案内した。	未算出 ※R8.3月以降 に判明 評価なし	—	—	40人/6年



第3節 観光の振興

施策の基本的方向		【令和6年度までの評価】							【令和7年度の評価】(中間)					
	【基本的方向】 「名探偵コナンに会えるまち」という本町ならではの取り組みや、恵まれた自然環境、豊かな特産品、青山剛昌ふるさと館に近接する国史跡 由良台場跡など多くの文化・歴史・文化財資源などを活かし、その魅力をさらに高める取り組みを推進することで、本町の魅力を多くの人知ってもらい、交流人口を増加させるとともに地域経済の活性化につなげ、地域の賑わいと活力を創出します。	【～R3】 新型コロナウイルス感染拡大の影響から、入込客数などの実績は大幅に減少した。非接触などの感染対策や地元需要喚起対策に取り組みながら、令和4年度に向けて誘客体制を整備している。 【R4】 コロナ規制緩和が行われたことで、客足が戻り実績値は概ね達成することができた。インバウンド客は、ピーク時には及んでいないが、鳥取中部推進機構等と連携し、引き続きプロモーションを強化していく。コロナ禍の落ち込みから、客足が回復に転じた。 高規格幹線道路の完成や道の駅再整備を見据え、国内外のプロモーションを引き続き強化していく。 【R5】 米子ソウル便、米子香港便、台湾チャーター便が再開されインバウンド客の取り込みも回復傾向にある。コロナは5類に移行し、ふるさと館の入館者はコロナ前の水準に戻りつつあり、町内への観光入込客数も順調に回復している。道の駅の整備、ふるさと館の再整備等を見据え、今後も継続してイベント、PRを強化し、一層の交流人口増加を図っていく。 【R6】 ふるさと館の入込客数が過去最多を記録するなど、各観光施設の入込客数は順調に増加しており、今後も道の駅ほうじょうがオープンするなど入込客数の増加が見込まれる。北条オートキャンプ場については、横ばい傾向にあるものの、4月に新設されたBBQ棟については、人気を博しており、キャンプ場全体の3割以上を占める結果となった。インバウンドについては、米子ー香港定期便、及び米子ー台湾定期チャーター便就航などの影響により回復傾向にある。今後も大阪・関西万博の開幕、ふるさと館の再整備等を見据え、国内外へのPRを強化していく。							ふるさと館入館者数は、昨年同月時点で1万人上回っており、万博特需により、インバウンド客は昨年同月時点の2倍に達している。 道の駅ほうじょうがオープンしたこともあり、町全体の入込客数は前年比166%となった。 コナン通り周辺の施設については、前年比10%前後の増となったが、北条オートキャンプ場、レークサイド大栄、道の駅大栄については前年比横ばいもしくは減少傾向にあり、原因としてキャンプブームの終焉、昨今の猛暑、類似施設の開業があげられる。 インバウンドについては、鳥取中部観光推進機構が中心となり誘致に注力している。					
		重要目標達成指標 (KGI)	基準値(R1)	R2(1年目)	R3(2年目)	R4(3年目) 期末	R5(4年目)	R6(5年目) 期末		R7(6年目) 中間			目標値(R7)	
				実績値	実績値／評価	実績値	実績値／評価	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	実績値／評価	具体説明		取組内容・状況
北栄町観光入込客数	76万5千人/年	45万6千人/年	44万3千人/年 遅れている	55万8千人/年 (見込) 概ね順調	69万1千人	80万4千人 遅れている。	・前年比120%と順調に増加しているものの、目標の達成は難しいと思われる。	・前年比116%と順調に増加している。 ・全施設において前年比増となった。特にコナン通り沿いのほとんどの店舗において前年比130%超となった。 ・北条オートキャンプ場については、キャンプブームの終焉ということもあり、横ばい傾向にあるものの、4月に新設されたBBQ棟については、人気を博しており、キャンプ場全体の3割以上を占める結果となった。	92万8千 順調	・道の駅ほうじょうがオープンしたこともあり、町全体の入込客数はで前年比166%となった。 目標の達成は十分に見込まれる。	・コナン通り周辺の施設については、前年比10%前後の増となったが、北条オートキャンプ場、レークサイド大栄、道の駅大栄については前年比横ばいもしくは減少傾向にあり、原因としてキャンプブームの終焉、昨今の猛暑、類似施設の開業があげられる。	105万7千人/年		

	具体的施策		具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3見込(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 期末 実績値	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 期末			R7(6年目) 中間			目標値(R7)
										実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	
具体的 施策	(1)「名探偵 コナンに会え るまち」の推 進等による観 光地づくり	「名探偵コナンに会えるまち」の推進による観光ルートづくりを推進するとともに、飲食・物販施設の開設等を促すことで交流人口の増加・地域経済の活性化を図ります。 青山剛昌ふるさと館を、「名探偵コナンに会えるまち」北栄町のシンボルとして、必要な機能を取り入れ充実させ、町民はもちろんのこと、ファンや観光客にも愛される施設に再整備します。また、作品の保存・展示やイベントの企画運営に携わる専門的人材の育成や活用を進めます。	・青山剛昌ふるさと館の再整備事業 ・コナン通り及び周辺の修景整備 ・青山剛昌ふるさと館及び周辺におけるイベント・企画展の開催 ・SNSを用いた情報発信事業 ・国内外プロモーション活動事業 ・観光情報の多言語化 ・新たな観光ルート作成 ・由良駅(コナン駅)整備事業 ・すいか・ながいも健康マラソン大会 ・由良台場・六尾反射炉発信、連携事業	青山剛昌ふるさと館入館者数	22万人/年	6万4千人/年	8万3千人/年 遅れている	13万4千人/年 概ね順調	18万人/年	23万4千人 目標を大きく上回る	・入館者数は前年比133%で過去最多となる234,459人/年を記録。 ・2月は降雪等の悪天候により前年を大きく下回る入館者数となったが、その他全ての月で前年を上回った。 ・3月23日には入館者数累計200万人に到達。 ・アジア圏のインバウンドが主体ではあるが、他の圏域もじわじわと認知されつつある。	・2月は降雪等の悪天候により前年を大きく下回る入館者数となったが、その他全ての月で前年を上回った。 ・3月23日には入館者数累計200万人に到達。 ・アジア圏のインバウンドが主体ではあるが、他の圏域もじわじわと認知されつつある。	15万人 目標を上回る進捗	・昨年同月時点の入館者数が1万人上回っている。 ・万博特需により、インバウンドは昨年同月時点の2倍に達している。	・オンラインでの前売券システムを新たに導入し、観光客が路程に合わせた「予定通りに確実に入館できる」環境を整備したことにより、着実な入館者数を確保。 ・万博特需によるインバウンドを狙い、JR西日本との共同による「名探偵コナンミステリーツアー」を開催したことによって鳥取県への来県を促進。	20万人/年
	(2)道の駅の 整備	本町の2つの道の駅を、観光情報を発信する広域交流拠点として位置づけ、道の駅「北条公園」について、国や施設の管理運営者と連携しながら再整備を進めます。また、道の駅「大栄」についても、再整備に関する検討を行います。	・道の駅再整備事業	道の駅「ほうじょう」への立寄者数(レジ通過者数)	4万3千人/年	2万9千人/年	2万人/年 遅れている	1万人/年 順調	道の駅「ほうじょう」は現在再整備のため、実績はありません。	道の駅「ほうじょう」R7オープンのため実績なし。	43万2千人 目標を大きく上回る	・年間目標値を達成済み。 ・冬場の入込客数に注視する。	・4/25日にリニューアルオープンし、4か月余りで目標値を達成した。 ・今後も北栄町の観光の拠点となる施設として、指定管理者と協力して運営を行う。	33万人/年		
			道の駅「大栄」への立寄者数(レジ通過者数)								31万1千人/年	26万8千人/年	24万8千人/年 遅れている	26万4千人/年 概ね順調	30万2千人 順調	31万5千人 概ね順調
		(3)広域観光 の促進	鳥取県中部圏域の観光関係団体と連携しながら、特産品をはじめ地元素材を活用した周遊性のある取り組み及び国内外への戦略的な魅力発信を行います。また、山陰道(北条道路)及び北条湯原道路等の高速ネットワークを活用した広域的な観光ルートを整備します。	・広域観光連携モデル事業	鳥取県中部圏域観光入込客数	176万1千人/年 (H30年)	180万8千人/年 (R1年)	124万6千人/年 (R2年) 遅れている	126万5千人/年 (R3年) 概ね順調	318万1千人 (2月末) 達成	194万7千人/年(R5年) 遅れている	・前年比120%と順調に増加しているものの、目標の達成は難しいと思われる。 ・鳥取中部観光推進機構が中心となり、インバウンド誘致に注力。米子ー香港定期便、及び米子ー台湾定期チャーター便の就航にあわせ、対象利用者への旅行支援を実施。693人の利用があった。 ・各地のイベントや祭りが本格的に復活し、コロナ禍前の入込客数を超えた。	・鳥取中部観光推進機構が中心となり、インバウンド誘致に注力。米子ー香港定期便は9月より運休となったが、台湾香港の旅行会社への誘客支援金については、14ツアー350人程度の申請があった。また、中部全体のインバウンドの入込客数はR5からR6にかけて3000人弱増加(20%増)した。	189万2千人/年(R6年) 遅れている	・前年に比べて減少した。目標の達成は難しいと思われる。 ・倉吉・三朝・湯梨浜については前年比横ばいもしくは減少したが、北栄・琴浦については増加している。	・中部圏域に限らず県内の自治体の多くが、微減もしくは横ばいとなった。原因としてコロナ後の客数の増加が落ち着いたことが考えられる。 ・インバウンドについては、鳥取中部観光推進機構が中心となり誘致に注力。米子ー香港定期便は9月より運休となったが、台湾香港の旅行会社への誘客支援金については、14ツアー350人程度の申請があった。また、中部全体のインバウンドの入込客数はR5からR6にかけて3000人弱増加(20%増)した。

施策の基本的方向	【令和6年度までの評価】								【令和7年度の評価】(中間)			
	【基本的方向】 2019年12月に表明した「気候非常事態宣言」に基づき、2050年までのゼロカーボン(人為起源のCO <sub>2</sub> 排出の実質ゼロ)に向けた取り組みを推進します。徹底した省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの最大限の活用によりCO <sub>2</sub> の排出削減を行うとともに、それらの取り組みを地域でお金が回る仕組みづくり、健康かつ快適な生活の実現、災害時のための分散型エネルギーシステムの構築などにつなげます。								目標達成項目あり。引き続き環境啓発に努め、環境にやさしいまちの取り組みを続ける。			
	重要目標達成指標(KGI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 期末 実績値	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 期末		R7(6年目) 中間			目標値(R7)
						実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	
再生可能エネルギー導入量 ※町が関与した導入	15,807kW	15,873kW	16,010kW 順調	16,096kW 達成済	16,177kW 達成済	16,319kW 達成済	・創エネ補助金(太陽光発電) 142kW	・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2024.6月号)で補助制度についての記事掲載 ・事業者向けの補助制度説明会を開催 ・住民ワークショップなどで周知	16,414kW 達成済	・創エネ補助金(太陽光発電)95kW	・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2025.5月号、8月号)で補助制度についての記事掲載	15,977kW

具体的施策	具体的施策		具体的な事業	重要業績評価指標(KPI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3見込(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 期末 実績値	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 期末			R7(6年目) 中間			目標値(R7)
	(1)再生可能エネルギー等の活用によるまちづくり	風力、木質バイオマスなど地域の再生可能エネルギーを活用する取り組みを一層推進するとともに、家庭や事業所における再生可能エネルギー等設備導入の取り組みを支援します。また、地域新電力事業、熱供給事業など、エネルギーを地産地消できる仕組みづくりを行います。	・公共施設等への創エネ等設備の導入推進 ・風力発電事業の推進 ・北栄町バイオマス産業都市構想の推進 ・地域新電力事業に関する検討 ・家庭用創エネ設備等設置費補助金事業	家庭用創エネ設備等設置件数	354件	387件	422件 順調	458件／3年 順調	495件／4年 順調	546件／5年 達成済	・太陽光発電 24件 ・蓄電池等 24件 ・HEMS 2件 ・薪ストーブ等 1件	・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2024.6月号)で補助制度についての記事掲載 ・事業者向けの補助制度説明会を開催 ・住民ワークショップなどで周知	574件／6年 達成済	・太陽光発電 12件 ・蓄電池等 13件 ・HEMS 1件 ・薪ストーブ等 2件	・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2025.5月号、8月号)で補助金制度周知	430件／6年
				中部圏域における地域新電力会社の立ち上げ支援	0社	0社	1社 順調	1件 達成済	1件 達成済	1件 達成済	—	—	1件 達成済	—	—	1社
				公共施設の地域新電力(地域の再生可能エネルギーを活用)契約率	0%	0%	0% 評価なし	0% 順調	約95% 順調	約98% 順調	公共施設の電気を鳥取みらい電力に切り替え済	R5.4から公共施設の電気は鳥取みらい電力へ切り替え 風力発電に関する電気もR6.10月に切り替え ※融雪装置(冬季のみ)はこれまでどおり中国電力。	約98% 順調	公共施設の電気を鳥取みらい電力に切り替え済	R5.4から公共施設の電気は鳥取みらい電力へ切り替え 風力発電に関する電気もR6.10月に切り替え ※融雪装置(冬季のみ)はこれまでどおり中国電力。	50%
	(2)環境にやさしく、健康で快適なライフスタイルへの転換	断熱性能に優れた省エネ住宅の建築・改修の普及促進により、エネルギー消費を減らすとともに、健康で快適な住生活の実現に取り組みます。また、まずは公共が模範を示すべく、公共施設等におけるエネルギー利用のあり方等について検討します。	・省エネリフォーム助成事業 ・省エネ建築や省エネリフォームに関する町民、事業者への普及啓発事業 ・CO <sub>2</sub> 大幅削減を実現する公共施設等のあり方検討及び適正管理	省エネリフォーム戸数	149戸	156戸	172戸 概ね順調	180戸 概ね順調	184戸 要見直し	190戸 要見直し	・断熱改修 7件 ZEH基準の補助事業への問い合わせなど関心は高い。	・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2024.6月号)で補助制度についての記事掲載 ・事業者向けの補助制度説明会を開催 ・住民ワークショップなどで周知 ・R6年度にZEH基準の補助事業を新設、既存の補助事業(省エネ基準)についても1人が1度しか利用できなかった点について見直した。	203戸 順調	・断熱改修 13件 ZEH基準の補助事業への問い合わせなど関心は高い。	・町HPで補助金交付状況等を随時掲載 ・町報(2025.10月号)で補助金制度周知	250戸



第2章 住みたくなる・住み続けたいまちづくり

第1節 子どもを産み育てやすいまちづくり

施策の基本的方向		【令和6年度までの評価】							【令和7年度の評価】(中間)					
	【～R3】 各種子育て支援事業を予定どおり実施しており、今後も支援体制の充実するため、庁内の連携のあり方について検討を進めた。 【R4】 子育て支援センターを中心に相談等を重ねた。こども園の中途入所に対する待機については、引き続き有資格者の確保に努める。 【R5】 他課からネウボラ内に児童虐待対策業務を移管し、支援体制の充実を図った。 【R6】 保育料等無償化などの経済的負担軽減を実施し幅広い保育サービスを提供しているが、こども園の待機児童については引き続き職員の確保に努める。								引き続き、こども園の職員確保が課題となっている。					
	重要目標達成指標 (KGI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 期末 実績値	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 期末 実績値／評価		R7(6年目) 中間 実績値／評価		実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	目標値(R7)
	町の子育て支援施策に満足する人の割合 ※町民アンケートのうち、「関心がない」「無回答」を除いた構成比	71.8%  充分満足 8.3% まあ満足 63.5% やや不満 26.6% 全く不満 1.6%	数値なし ※調査は令和7年度に実施	数値なし ※調査は令和7年度に実施 評価なし	-  評価なし	-  評価なし	-  評価なし	※調査は令和7年度に実施	・子育て支援センター(ネウボラ)によるワンストップ窓口として総合的な支援サービスを提供した。 ・出産子育て応援交付金事業で相談支援と経済的支援を同時に実施した。 ・子育てと仕事の両立支援として、保育料等無償化などの経済的負担軽減や、病児保育、一時預かりなど保育サービスも幅広く提供した。				80.0%	
	町の子育て支援施策に満足する人の割合 ※住民満足度調査								満足 26.6%  どちらともいえない 50.3%  満足していない 23.2%	町による出産、育児、子育て支援に対する満足度	・子育て支援センター(ネウボラ)によるワンストップ窓口として総合的な支援サービスを提供した。 ・出産子育て応援交付金事業で相談支援と経済的支援を同時に実施した。 ・子育てと仕事の両立支援として、保育料等無償化などの経済的負担軽減や、病児保育、一時預かりなど保育サービスも幅広く提供した。			

具体的施策	具体的施策	具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3見込(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 期末 実績値	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 期末 実績値／評価		R7(6年目) 中間			目標値(R7)		
									実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況		
	(1)結婚・出産・子育てに安心、喜びを感じられる環境づくり	結婚の意思がある若い世代の希望の実現を図るため、新婚世帯に対する金銭面等のサポートを行います。また、妊娠・出産について、より多くの人々が希望を叶えられるよう特定不妊治療費助成を行うとともに、妊娠適齢期についての普及啓発を行います。安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを推進します。	・乳幼児健診・子育て支援センターでの乳幼児相談 ・離乳食講習会 ・育児教室 ・赤ちゃん訪問(保健師) ・乳幼児全戸訪問(訪問相談員) ・養育支援訪問 ・個別支援プランの作成 ・産前・産後サポート ・結婚新生活支援事業(新婚世帯に対する住居費等に関する支援) ・特定不妊治療費助成事業 ・若者への啓発事業(親育ち事業、成人式にパンフレット配布)	育児について相談したり、話したりする人があると答える人の割合	98%	93.6 % (3歳児健診)	99.0 % (3歳児健診) 順調	97.3% (3歳児健診、3月末) 概ね順調	99% (3歳児健診) 順調	97% (3歳児健診) 概ね順調	3歳児健康を受診した保護者のうち、育児について相談したり、話したりする人があると答えた人の割合。 ・「育児教室における相談支援」、「相談相手がない方の対応」、「妊娠期からの早期介入」は保健師等による面談を行い保護者の不安解消に努めた。 ・産後早期に支援者が不足する方に対し、産後ケア事業や養育訪問事業等による支援を行った。 ・相談者がいないと答えた保護者へ相談先等の情報提供を行った。	100% (3歳児健診) 順調	3歳児健康を受診した保護者のうち、育児について相談したり、話したりする人があると答えた人の割合。 ・産後早期に支援者が不足する方に対し、産後ケア事業や養育訪問事業等による支援を行った。 ・相談者がいないと答えた保護者へ相談先等の情報提供を行った。	100% (3歳児健診) 順調	100%	
			妊娠適齢期という言葉を知っている人の割合 ※成人式アンケート	86.2%	数値なし ※成人式延期のため	74.6% 遅れている	項目削除されたおり、アンケート実施なし 評価できず	82人/117人 70% 遅れている	85人/99人 86%	成人式(二十歳の集い)の参加者のうち、妊娠・出産に適齢期があると知っている人と答えた人の割合 ・成人式(二十歳の集い)でパンフレット(妊娠についての意識啓発・問題回避)を配布した。 ・12/8(日)に中部5市町共催で思春期保健講演会を実施した。(参加者数:12人/80人)	実施しない	成人式(二十歳の集い)の参加者のうち、妊娠・出産に適齢期があると知っている人と答えた人の割合 ・成人式(二十歳の集い)のアンケート実施方法の変更に伴い、アンケート実施を取りやめたため、評価不可。次の計画では評価指標を変更予定。 ・二十歳の集いで、プレコンセプションケア(若者の健康づくり)に関する冊子を配布し、妊娠のみならず若者の健康づくりについて啓発する予定。	90%			
	(2)子育て世代への支援と幼児教育・保育サービスの充実	保育料の無償化や在宅育児世帯支援事業給付金等による子育て世代への財政的支援や、延長保育、病児・病後児保育、休日保育、放課後児童クラブの実施による子育て支援の充実を図ります。	・延長保育事業 ・一時預かり事業 ・休日、病児・病後児保育事業 ・放課後児童健全育成事業 ・在宅育児世帯支援事業給付金 ・幼児教育・保育無償化 ・子どもの医療費助成制度 ・ひとり親家庭医療費助成制度 ・インフルエンザワクチン等の接種補助 ・新生児の家庭へのごみ袋無料配布	こども園入所待機児童数	0人	5人	2人 遅れている	8人 遅れている	10人 遅れている	9人 遅れている	入所保留通知書の送付数	・職員配置について、国基準を上回る北栄町の基準を設け、乳幼児が安心して過ごせる人的環境を整えたが、申込のあった児童全てを受け入れる職員配置は職員が不足するためできなかった。 ・在宅育児支援事業により、家庭で保育する保護者に給付金を支給した。	0人	厚生労働省「保育所等利用待機児童数調査」基準による計上	・職員配置について、国基準を上回る北栄町の基準を設け、乳幼児が安心して過ごせる人的環境を整えたが、今後申込のあった児童全てを受け入れる職員配置は職員が不足するためできない可能性がある。 ・在宅育児支援事業により、家庭で保育する保護者に給付金を支給した。	0人の継続
			放課後児童クラブ待機児童数	0人	0人	0人 順調	0人 順調	0人 順調	0人 順調	申込のあった全ての利用対象児童を受入れた。 ・保護者が就労等で昼間家にいない児童を放課後に預かり、児童の健全育成を行った。	0人 順調	申込のあった全ての利用対象児童を受入れた。 ・申込のあった全ての利用対象児童を受入れた。 ・保護者が就労等で昼間家にいない児童を放課後に預かり、児童の健全育成を行った。	0人 順調	0人の継続		

第2節 未来をつくる教育の推進

施策の基本的方向		【令和6年度までの評価】							【令和7年度の評価】(中間)			
		【～R3】 新型コロナの影響で、鳥取中央育英高校の「地域探究の時間」では、現地での活動が制限されたり、中止されたりするなどの影響があったが、オンラインで学生が交流したり、成人式や発表会をオンライン形式で行ったりする等、新たな活動方法も生まれている。 学校教育場面では、ふるさとキャリアパスポートを活用しながら、地域やふるさとを考える機会づくりを進めた。また、コミュニティスクールの推進により地域の方々と交流することができ、地域について考える機会が増えている。 【R4】 学力面の低下が顕著に出ている。小中高の連携、生涯学習など学校と地域の連携が改めて重要。 【R5】 コロナ禍の制約も解け、予定していた事業を着実に実施した。鳥取中央育英高校の地域探究は令和5年度、北栄町を中心とした地域の人材の紹介をおこない、生徒の地域への関心度を高めることができた。 【R6】 学校における支援体制の充実を図っている。生徒の学校外での活動参加等を推進し、地域への関心度を高めることができた。							学校における支援体制の充実を図るとともに生徒の学校外での活動参加等を推進し、地域への関心度を高めている。			
	【施策の基本的方向】 地域の将来を担う人材の確保が課題となる中、子ども のときから自分の生まれ育った町と地域の魅力を知り、誇り と愛着を持つための機会を提供します。 児童生徒の「生きる力」を育成するため「家庭」「地域」「学 校」が連携し「確かな学力づくり」「豊かな心と人間関係づ くり」「健康な体と体力づくり」に取り組めます。											
	重要目標達成指標 (KGI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 期末 実績値	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 期末 実績値／評価		R7(6年目) 中間 実績値／評価		目標値(R7)	
	高校卒業後、地元を 離れたが将来は地元 に帰って就職したい と思う人の割合 ※成人式アンケート	51%	数値なし ※成人式延期の ため	50% 遅れている	53.9% 順調	51.28% 概ね順調	50.4% 遅れている	希望する 30.89%  どちらかという 希望する 19.51%	「地域探究の時間」における地域 の魅力の発掘、課題解決を図る人 材育成。 ・ボランティア体験により地元の 理解を深め、社会性を学んでい る。	数値なし	—	「地域探究の時間」における地域 の魅力の発掘、課題解決を図る人 材育成。 ・ボランティア体験により地元の 理解を深め、社会性を学んでい る。

具体的施策	具体的施策	具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3見込(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 実績値	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 期末		R7(6年目) 中間		目標値(R7)								
	(1)地域を支える人材の育成	学校や家庭だけでなく、地域が子どもを守り育てていく主体の一人であるという意識の醸成を図りながら、地域社会全体で将来の北栄町を担う人材となる子どもへの関わりづくりの取り組みを推進します。 職業体験、SDGsに関する学習、地域課題の探究プログラム、地産地消、地域の観光・産業等を活用した地域における学びの機会を提供し、子ども達の将来の選択肢や可能性を広げます。	・鳥取中央育英高校との連携による「地域探究の時間」の実施 ・鳥取大学と連携による実践型学習の実施 ・ほくほくプラザにおける企業と連携したSDGs教育プログラムの実施 ・コミュニティスクールの導入、実践 ・地域で子どもを育てる体験活動支援補助金事業の推進 ・地域行事への参加促進(家庭教育12か条キャンペーン、朝の元気配達便等) ・生き方を学ぶ講演会 ・職場体験学習 ・小中学校授業(生活・総合的な学習)におけるふるさとキャリア教育 ・総合的な学習における地域人材の活用 ・地元産食材を活かした学校給食と食育推進 ・地域の文化・歴史・文化財を活かした魅力発見・体感事業の推進(地域副読本、北栄ふるさとかるた、北栄みらい伝承館の活用、出前講座等)	【中3】 35.9% (国39.4%) (県40.8%)	数値なし ※新型コロナウイルス感染症拡大のため全国調査なし	【中3】 51.3% (国43.8%) (県45.6%) 順調	【中3】 52.6% (国40.7%) (県42.2%) 順調	【中3】 61.2% (国63.9%) (県68.1%) 国、県を下回るが、昨年度より数値は伸びている	【中3】 81.4% (県76.8%) (国76.1%) 国、県を上回る	令和6年4月18日実施の全国学力・学習状況調査結果より。 質問事項がR5年度調査より「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に変更	【中3】 66.6% (県75.7%) (国75.3%) 国、県を下回る	令和7年4月17日実施の全国学力・学習状況調査結果より。 ・北条、大栄校区ごとにコミュニティスクールを導入し地域の人材を生かした取組を実践 ・ボランティア活動の周知 ・小中学校でふるさとキャリア教育、生き方を学ぶ講演会、地元産食材を使った調理実習、SDGsについての学習などに取り組んだ。 ・ほくほくプラザ事業でSDGs推進学習を実施 ・地域の人材や北栄ふるさとカルタを活用した青少年育成講座(おもしろまなびタイム)の実施		【中3】 66.6% (県75.7%) (国75.3%) 国、県を下回る	令和7年4月17日実施の全国学力・学習状況調査結果より。 ・北条、大栄校区ごとにコミュニティスクールを導入し地域の人材を生かした取組を実践 ・ボランティア活動の周知 ・小中学校でふるさとキャリア教育、生き方を学ぶ講演会、地元産食材を使った調理実習、SDGsについての学習などに取り組んだ。 ・地域の人材や北栄ふるさとカルタを活用した青少年育成講座(おもしろまなびタイム)の実施 ・ほくほくプラザ事業でSDGs推進学習を実施 ・ほくほクラブを立ち上げ、人権学習に加え、体験活動等を通じた探究学習を実施						
																実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況
																【中3】 国県数値以上	【中3】 国県数値以上				
		鳥取県の課題に対してアイデアがある高校生の割合 ※実践型学習「地域探究の時間」の事前事後アンケート		41.4% (事前30.4%)	44.6%(事前22.4%)	50.4% (事前23.5%) 順調	40% (事前39%) やや遅れている	62.8% 順調	51.6% (事前45.6%) 順調	—	中央育英高校の地域探究の時間(9年目)の取り組みで、2年生が地域の魅力発信や課題解決に取り組んだ。 加えて1年生も地域探究の基礎学習として地域に向向いて探究学習を行い、2年生に繋がる経験を重ねた。  高校生議会(11年目)を1月28日に開催し、11人の高校生議員が質問を行った。	数値なし 実績は期末に	—	中央育英高校の地域探究の時間(10年目)の取り組みで、2年生が地域の魅力発信や課題解決に取り組んでいる。 加えて1年生も地域探究の基礎学習として地域に向向いて探究学習を行い、2年生に繋がる経験を重ねている。  高校生議会(12年目)を1月26日に開催予定。	50%/毎年						



		具体的施策	具体的な事業	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(R1)	R2(1年目)	R3見込(2年目)	R4(3年目)	R5(4年目)	R6(5年目) 期末			R7(6年目) 中間			目標値(R7)
						実績値	実績値／評価	実績値	実績値／評価	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	
具体的 施策	(2)教育環境 の充実	習熟度に応じた授業やICT教育の導入等による学力の向上、人権教育・体験活動・スポーツ活動・国際理解教育等を通じた豊かな心と健やかな体の育成に取り組めます。また、子ども一人ひとりの状態・状況に応じたきめ細かな個別支援を行います。	【確かな学力づくり】 ・特別支援教育の充実 ☑ ・スクールカウンセラー や スクールソーシャルワーカー の配置 ・講師招聘による授業研究事業、学力調査(全国学テ・NRT・CRT等) ・学び力向上アクション週間の設定 ・国際理解教育の推進(小学校外国語授業、中学生英語力向上事業等) ・中学生英検検定料助成事業 ・高校生遠距離通学費助成事業 ・サマースクール ・フリースクール利用料助成事業 ・学習支援事業 【豊かな人間関係づくり】 ・ハイパーQU調査 ・いじめ実態調査 ・生き方を学ぶ講演会の開催等 ・地域・学校とともに人権を学ぶ機会の提供 ・通学合宿	全国学力・学習状況調査平均正答率	【小6】 国語61% (国63.8%) (県63%) 算数63% (国66.6%) (県63%)  【中3】 国語71% (国72.8%) (県73%) 数学58% (国59.8%) (県60%) 英語55% (国56%) (県54%)	数値なし ※新型コロナウイルス感染症拡大のため全国調査なし	【小6】 国語 66% (国64.7%) (県64%) 算数70% (国69%) (県70.2%) →順調  【中3】 国語 62% (国64.6%) (県63%) 数学54% (国56%) (県57.2%) 英語 実施なし →下回っている	【小6】 国語 57% (国65.6%) (県64%) 算数58% (国63.2%) (県62%) 理科58% (国63.3%) (県63%) →下回っている  【中3】 国語 67% (国69.8%) (県69%) 数学46% (国51.0%) (県50%) 英語34% (国45.6%) (県42%)	【小6】 国語 67% (国67.2%) (県67%) 算数65% (国62.5%) (県61%)  【中3】 国語 67% (国69.8%) (県69%) 数学46% (国51.0%) (県50%) 英語34% (国45.6%) (県42%)	【小6】 国語 65% (国67.7%) (県68%) 算数62% (国63.4%) (県63%)  【中3】 国語 58% (国58.1%) (県57%) 数学52% (国52.5%) (県50%)	令和5年4月18日実施の全国学力・学習状況調査結果より。	・確かな学力づくり 講師招聘による授業研究事業、学力調査(全国学調・とっとり学調・学力調査・NRT等)、サマースクール実施、学力向上アクション週間の設定、自治会等地域ボランティア学習活動支援事業等	【小6】 国語 67% (国66.8%) (県65%) 算数62% (国58%) (県55%) 理科63% (国57.1%) (県56%)  【中3】 国語 48% (国54.3%) (県52%) 数学39% (国48.3%) (県44%) 理科 456 (国503) (県490) ※理科はIRTスコアを採用	令和7年4月17日実施の全国学力・学習状況調査結果より。	・確かな学力づくり 講師招聘による授業研究事業、学力調査(全国学調・とっとり学調・学力調査・NRT等)、サマースクール実施、学力向上アクション週間の設定、自治会等地域ボランティア学習活動支援事業等	【小6】 国県数値以上  【中3】 国県数値以上
具体的 施策				不登校児童生徒の出現率	【小学生】 H30:0.64% (国0.69%) (県0.86%) 【中学生】 H30:2.78% (国3.64%) (県3.58%)	・小=1.36 % (国1.00、県1.19) ・中=4.18 % (国4.09、県3.75)	【小学生】 1.84% (国不確定) (県1.10%) →出現率が高い 【中学生】 6.01% (国不確定) (県3.80%) →出現率が高い	【小学生】 1.49% (国、県未公表) →評価なし 【中学生】 6.18% (国、県未公表) →評価なし	【小学生】 1.92% (国1.7%) (県2.19%) →出現率が高い 【中学生】 6.32% (国5.98%) (県7.06%) →出現率が高い	【小学校】 2.93% (県)2.27% (国)2.14%  【中学校】 5.78% (県)7.19% (国)6.71%	県、国はR5年度末の数値	・豊かな人間関係づくり ハイパーQU調査、いじめ実態調査、北条町いじめをなくそうサミットの開催、生き方を学ぶ講演会の開催等 ・SSWを2名配置し、校種別に担当。アウトリーチによる支援 ・大条中に校内サポート教室設置 ・各小学校に学校生活適応支援員を配置 ・チーム学校としてSC、SSWiによる支援の方向性や情報共有	【小学校】 0.98%  【中学校】 4.29%  *県・国比較数値未定	令和7年度生徒指導月例報告より	・豊かな人間関係づくり WEBQU調査、いじめ実態調査、子どもじんけんサミットの開催、生き方を学ぶ講演会の開催等 ・SSWを2名配置し、校種別に担当 アウトリーチによる支援を行う ・チーム学校としてSC、SSWiによる支援の方向性や情報共有 ・北条中学校に校内教育支援センターを設置し、不登校状況が続く生徒への対応、不登校未然防止の対応を行う  R6年度の同時期出現率を比較すると、小学校は低く、中学校は高い。中学校では小学校からの不登校状況が継続している生徒が多い。北条中学校に設置した校内教育支援センターでは、小学校で不登校だった生徒にアプローチが進み、動きがみられる。小学校では学校生活適応支援員を配置し、不登校児童へのサポートを行っている。	【小学生】 国県数値以下  【中学生】 国県数値以下

第3節 移住定住の促進

施策の基本的方向		【令和6年度までの評価】							【令和7年度の評価】(中間)					
	【基本的方向】 移住に関心はあるが北栄町のことをよく知らない人、北栄町への移住に関心のある人など、それぞれの関心の度合いに応じた情報発信・情報提供を行います。また、移住者への様々な支援を行い、北栄暮らしを応援し、定住へとつなげていきます。	【～R3】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、地方移住や地元へのUターンの機運が高まっているなか、オンラインツールを利用した移住相談会の開催等により、移住者数の実績値は増加した。 【R4】 相談会の開催回数の減少に比例して、移住者数の現象が見られる。コロナの影響による相談会の回数減の影響が表れた。 【R5】 移住相談会のオンライン開催が定着している。オンライン移住相談会で個別相談をした方は個別相談自体の数は少ないものの移住につながっている。町への連絡ツールとして参加をしている傾向がある。 【R6】 分かりやすい移住・空き家改修補助金等の案内チラシを作成し、町HPでの周知や空き家バンク利用希望者へ丁寧に案内することで、移住につながっている。実績値は昨年度同数だが、相談会等で積極的にPRし、支援事業については地元不動産会社等に定着している。							分かりやすい移住・空き家改修補助金等の案内チラシを作成し、町HPでの周知や空き家バンク利用希望者へ丁寧に案内することで、移住につながっている。相談会等で積極的にPRし、支援事業については地元不動産会社等に定着している。新たに、多世代同居による空き家改修補助金創設し、県外若者世帯の呼び込みを行う。著名人による移住定住テレビ番組を制作し、情報発信を行った。					
		重要目標達成指標 (KGI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 実績値	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 期末			R7(6年目) 中間			目標値(R7)
								実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	
		移住者数 ※県への移住者報告数	66人/年	79人/年	91人/年 順調	63人 R5.3.13現在 やや下回っている	77人／年	66人/年 やや下回っている	10代以下3人 20代29人 30代8人 40代10人 50代3人 60代5人 70代以上5人	・各種補助事業(移住者住宅取得支援補助金・若年層加算あり、IJU空き家改修支援事業補助金)による支援	34人/年 やや下回っている	10代以下1人 20代12人 30代5人 40代6人 50代3人 60代3人 70代以上4人	・各種補助事業(移住者住宅取得支援補助金・若年層加算あり、IJU空き家改修支援事業補助金)による支援	75人/年

具体的施策	具体的施策		具体的な事業	重要業績評価指標(KPI)	基準値(R1)	R2(1年目) 実績値	R3(2年目) 実績値／評価	R4(3年目) 実績値	R5(4年目) 実績値／評価	R6(5年目) 期末			R7(6年目) 中間			目標値(R7)
										実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	実績値／評価	具体説明	取組内容・状況	
	(1)情報発信・情報提供体制の構築	都市圏での相談会参加、オンライン相談会開催等による情報発信、移住定住に関する相談窓口の整備等により、移住に関心がある人への積極的な情報提供、体験機会の提供を行います。	・移住定住相談員配置事業による相談窓口のフックサービス ・お試し住宅事業 ・地域おこし協力隊事業	移住相談会へ参加	8回/年	10回/年	10回/年 順調	6回 やや遅れている	・移住相談会への参加7回 ・町主催オンライン相談3回 順調	移住相談会への参加6回 やや遅れている	・移住相談会へ参加(5、7※2回、11、12、1月)	・移住相談会への参加、町独自のオンライン相談会の開催。窓口での相談受付	移住相談会への参加4回 やや遅れている	・移住相談会へ参加(6月、8月、10月※2回)	・移住相談会への参加、町独自のオンライン相談会の開催。窓口での相談受付	10回/年
	(2)北栄暮らしの支援	北栄町への移住を促進するための各種支援を行います。	・移住奨励金事業 ・若年層移住定住者住宅取得補助金事業(対象：18歳～45歳) ・空き家家財処分費補助金事業 ・IJUターン空き家改修支援補助金事業 ・Uターン者就職活動交通費補助金事業 ・空き家情報バンク事業	県外転入者の移住奨励金利用件数 ※住宅取得又は空き家情報バンク物件の賃借	2件/年	6件/年	4件/年 順調	4件 概ね順調	4件/年 概ね順調	8件 順調	・空き家情報バンク売却3件、賃貸2件 ・家財道具処分1件、IJU2件	・県外転入者に対して、空き家改修支援補助金等該当の補助金を交付、空き家バンク物件の県外者へのマッチング。	1件 遅れている	・空き家情報バンク売却1件	・県外転入者に対して、空き家改修支援補助金等該当の補助金を交付、空き家バンク物件の県外者へのマッチング。	5件/年
	(3)北栄暮らしの魅力向上に向けた総合的な検討	北栄町への移住定住者を増やしていくためには、大前提として、北栄町における暮らしの魅力そのものを向上させていくことが何より重要となります。このため、今後の社会情勢の変化や移住者の方々を含めた町民からの意見も踏まえつつ、通信環境・交通手段等のインフラにおける課題、土地の活用における課題等、北栄町が「住み続けたいまち」として選ばれるに当たっての課題について総合的に整理し、新たな政策の検討を行っていきます。		—	—	—	— 評価なし	— 評価なし	— 評価なし	— 評価なし	—	北栄町の移住定住者の増加に向けた様々な施策を総合的に実施。 令和6年度は鳥取県全体として移住者数増加を図るため相談会の拡充や情報発信(町への移住者インタビュー等)に取り組んでいる。  数値的な比較基準がないため「評価なし」としている。	— 評価なし	—	北栄町の移住定住者の増加に向けた様々な施策を総合的に実施。 令和7年度は鳥取県全体として移住者数増加を図るため相談会の拡充や情報発信(町への移住者インタビュー等)に取り組んでいる。  数値的な比較基準がないため「評価なし」としている。	—